社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和06年12月13日

計画の名称	工業団地アクセス道路整備による産業の多様な価値と地域の雇用を創造するまちづくり														
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度　(5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	静岡県														
計画の目標	令和６年２月に工場の一部操業開始をした本地区は、津波浸水等による災害リスクの少ない高台に位置し、大規模工場や工業団地が多く立地している。また、本地区の南～東端に計画されている都市計画道路大倉戸茶屋松線は、北は東名高速三ケ日IC、南は国道１号大倉戸ICへのアクセス道路であり、自動車関連産業が多く立地する本市と自動車産業を支える三河湾へのアクセス性がより向上することが期待される。こうした点から、本地区を新産業拠点として位置付け、土地区画整理事業を推進することで、工業団地からの１次アクセス道路である都市計画道路大倉戸茶屋松線の整備によりストック効果を高め、更なる都市活力や雇用を創出することを目標とする。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	892	A	892	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7年度当初		R11年度末
1	都市計画道路大倉戸茶屋松線の整備により、本地区の工業用地としての利用価値を高めることで新たな雇用を創出し、減少傾向にある湖西市内の従業者数を維持する。			
	人口減少傾向にある湖西市内の従業者数を維持する。 ※当初現況値は直近のR3年度調査値を採用	40581人	人	41080人
2	都市計画道路大倉戸茶屋松線の整備及び浜名湖西岸土地区画整理事業の推進により、工業用地の稼働面積を増加させる。			
	浜名湖西岸土地区画整理事業地内の工業用地について、基盤整備の結果として実際に稼働を開始した面積の全体面積に対する割合を算出する。 工業用地の稼働率（%）＝（稼働済面積）／（工業用地の総面積）	26%	%	96%
3	都市計画道路大倉戸茶屋松線の整備により、周辺の幹線道路へのアクセス性が向上し市北部方面（市街地、東名高速三ケ日IC）への所要時間を短縮させる。			
	浜名湖西岸土地区画整理事業地内交差点から地区北側幹線道路との最寄り交差点までの所要時間を短縮させる。 所要時間＝拠点間距離／旅行速度（設計速度・現況走行速度）	10分	分	2分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・湖西市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A全て・湖西市総合計画に基づき実施される要素事業：A全て・湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき実施される要素事業：A全て												

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R07	R08	R09	R10	R11	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	静岡県	間接	浜名湖西岸土地区画整理組合	区画	改築	浜名湖西岸地区（（都）大倉戸茶屋松線）	区画整理　A=48.6ha	湖西市	■	■	■	■	■	892		―
											小計						892		
											合計						892		

案件番号：

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R07				
配分額（a）	53				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	53				
前年度からの繰越額（d）	18				
支払済額（e）	18				
翌年度繰越額（f）	53				
うち未契約繰越額(g)	33				
不用額（h = c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	46.47				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	民間造成工事との調整により発注が遅れたため				

案件番号：